

青森県立保健大学 2012年卒

あおり協立病院6階 消化器内科・外科病棟 小山内 ちさと



私が勤務している6階病棟は、患者様も職員もやさしい病棟です。自分が失敗をした時には、辛い思いを二度としないように良い方向へ成長できるように叱ってくれる人がいる。失敗の後には挽回のチャンスをくれて、自分がやり遂げる最期までしっかり見守ってくれる人がいる。全てが終わればおいしいご飯を食べながら、飲んで歌っていじられて、いっぱい笑って受け入れてくれる人がいる。激しい人見知りで、緊張の塊のような自分が1年間でこんなにたくさんの人と接し、楽しさや

やりがいを覚えたことは今までにないことでした。これから新人が入職し、また新たな1年が始まりますが、今度はそんな先輩になって、一緒に成長できるような日々がおくれたらいいなと思っています。



国立病院機構弘前病院附属看護学校 2012年卒

あおり協立病院6階消化器内科・外科病棟 岩崎 愛美

協立病院に勤務して良かったなと思うことはさまざまありますが、一番良かったと思うことは新人教育です。他病院では早い時期に一人立ち、日勤の業務をきちんと覚える前に夜勤に入り、よく分からないまま業務を行っていたと話している人もいました。協立病院では他病院に比べ少し遅めに一人立ち、夜勤に入る時期が設定されています。また、入社してからすぐ行われる研修の他に、毎月1回行われる若草の会という新人研修があります。そこでは多重業務課題や、救急カートの使用の仕方など、毎月様々な事を学ぶことができます。同時に同期の仲間と悩みを話しあったりしてリフレッシュを行うことができました

